

ダム防災操作効果の公表について

平成29年11月6日
土木建築部河川課

台風第22号の影響によるダム防災操作の効果についてお知らせします。

1. 防災操作実施ダム概要

ダム名	所在地	河川名	流域面積 (km ²)	総貯水容量 (万 m ³)
北川ダム	佐伯市宇目大字南田原	五ヶ瀬川水系北川	178.0	4,100

2. 防災操作日時

ダム名	開始	終了
北川ダム	10月29日 05:30	10月29日 14:48

3. 防災操作の効果

詳細は別紙のとおり

【問い合わせ先】

河川課 ダム・海岸班

成瀬・森下・井上

【電話】097-506-4595(直通)



安心・活力・発展

大分県土木建築部

平成29年10月28日～29日の台風第22号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

【速報推計】

台風第22号の影響で10月28日1時より降り出した雨により、ダムへの流入量は漸次増加し、19時には降り始めからの累計雨量60mmで、流入量39m³/sに、29日3時には累計雨量120mmで、流入量110m³/sに、5時30分に流入量が洪水量の200m³/sに達したところで、防災操作を開始しました。

その後、台風第22号の接近に伴い流入量が増加し、8時10分には最大流入量404m³/sに達しました。

その後、流入量は減少をはじめ14時48分には洪水量の200m³/sまで減少したので防災操作を終了しました。

総雨量は28日1時から29日15時までで207mmでした。

今回の防災操作により、下流河川(合流点付近)において、河川水位を約1.50m低減させたと推測されます。



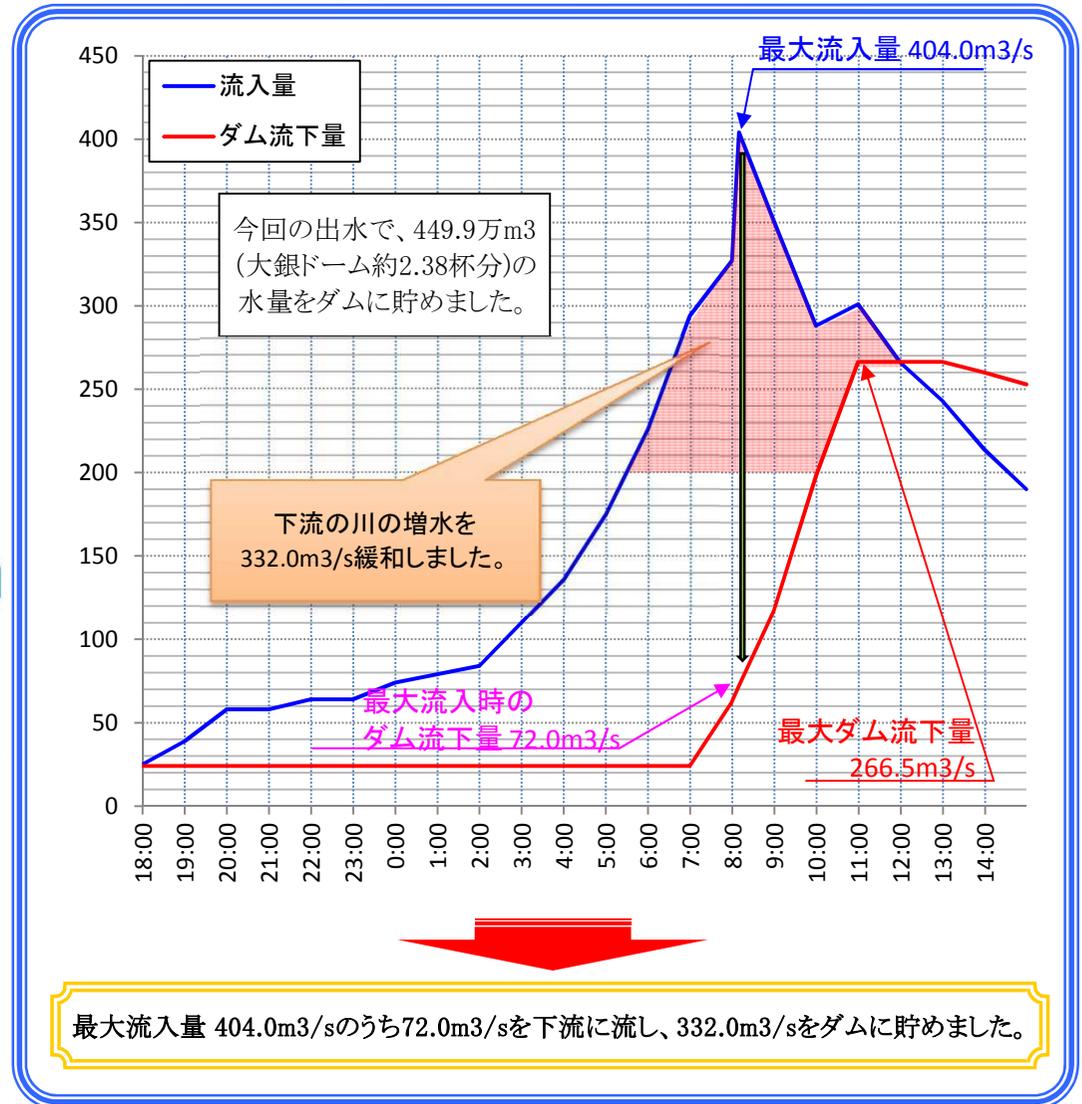
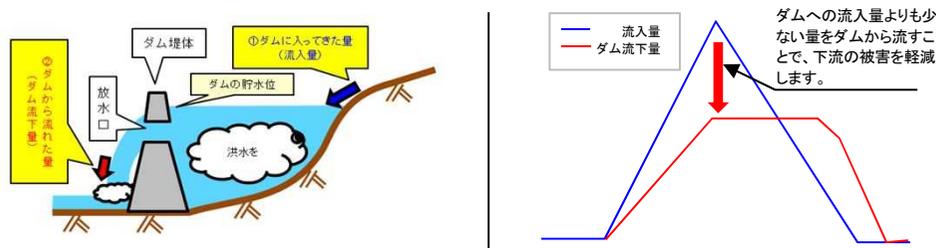
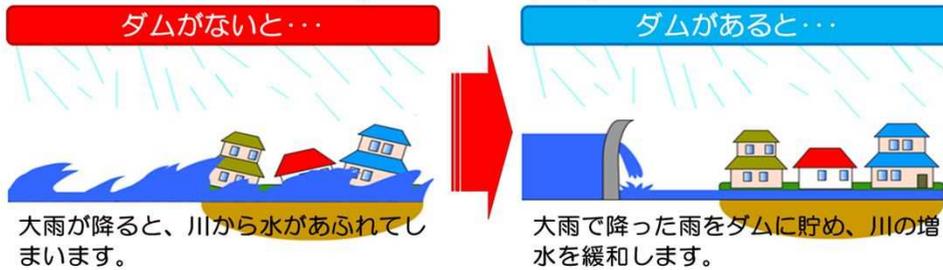
平成29年10月28日～29日の台風第22号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

2017/10/29

【 防 災 操 作 実 績 図 (速 報 値) 】



【ダムの治水効果】



平成29年10月28日～29日の台風第22号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

【 延岡市北川町 熊田橋地点(北川、小川合流点)の河川水位比較 】

